



第2次

松山市

環境

総合計画

平成25年3月
松山市

はじめに

松山市には、生き物の宝庫である高縄山系などの山々、多島美を感じさせる瀬戸内海に浮かぶ島々など、美しく、豊かな自然があふれており、人々の暮らしは、これらの自然の恵みを楽しむなど、自然との共生のもとに成り立っています。

このような地域が持つ固有の宝を知恵と工夫で大切に守り、育み、将来世代に引き継いでいくため、本市では、長期的な視点に立って環境施策に積極的に取り組み、平成25年3月には、国から、高い目標を掲げて先駆的な取り組みにチャレンジする「環境モデル都市」に選定されるなど、多くの市民の協力を得ながら着実にその歩みを進めてまいりました。

しかしながら、昨今の環境を取り巻く情勢は、東日本大震災を契機とする廃棄物問題やエネルギー政策の転換など新たな環境問題の発生、生物多様性の確保など刻一刻と変化しており、これらの問題を解決するためには、理想とする環境都市を明確化し、市民とともに共有する中で、その実現に向けて歩み続けていくことが重要です。

そこで、本市では、今回、今後10年間にわたる環境施策の進むべき方向を定めた「第2次松山市環境総合計画」を策定いたしました。

本計画では、目指すべき将来像として「協働が築く自然と都市が調和するまち松山～緑の映える快適で笑顔広がるまちを目指して～」を掲げ、循環型社会、低炭素型社会、環境保全型社会、環境配慮型社会の4つの分野で、進めるべき施策を体系化しています。

今後は、本計画に沿って、市民、市民活動団体、事業者の皆様と協働して、将来像の実現に向け、施策の推進に努めてまいりたいと考えていますので、どうか、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただいた松山市環境審議会やみんなのまつやま夢工房、松山市環境市民会議の皆様、アンケートやパブリックコメントを通じて貴重な御意見、御提案をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

平成 25 年 3 月

松山市長 野 志 克 仁



目 次

はじめに

第1章 計画の基本的事項	1
1 第2次松山市環境総合計画の概要	2
2 社会的背景	7
第2章 環境の現状と課題	11
1 松山市の環境	12
2 環境施策の評価	30
3 市民アンケートの概要	33
第3章 環境の将来像と目指すべきまちの姿	39
1 環境の将来像	40
2 目指すべきまちの姿	42
第4章 みんなで進める取り組み	45
1 ごみを「たから」に変えるまち	48
2 限りある水資源を有効に活用するまち	52
3 環境に配慮した交通が広がるまち	56
4 エネルギーを効率よく利用するまち	60
5 いつまでも健康でおだやかに暮らせるまち	64
6 歴史・文化と自然が調和したまち	68
7 環境を慈しむ気持ちを育むまち	74
8 地球にやさしい人が集い行動するまち	78
第5章 リーディングプロジェクト	81
リーディングプロジェクトとは	82
プロジェクト1. 「もったいない」の精神を養い、資源を有効に活用する 地域循環型まちづくりプロジェクト	83
プロジェクト2. 歩いて楽しい、乗って心地よい、コンパクトなまちへ 低炭素型まちづくりプロジェクト	87
プロジェクト3. 人と環境にやさしく、災害にも強い、スマートなまちへ 低炭素型まちづくりプロジェクト	91
プロジェクト4. 豊かな自然から受ける多くの恵みを未来へ引き継ぐ 自然と共に生きるまちづくりプロジェクト	95
プロジェクト5. 環境教育の充実と環境情報の共有化を推進する 地球にやさしい人づくりプロジェクト	99

資料 103

- 1 みんなのまつやま夢工房での市民からの政策提言 資料1
- 2 検討の経過 資料6
- 3 松山市環境総合計画策定後の環境行政 資料9

コラムのページ

- ① 交通分担率 16
- ② 生ごみの堆肥化 21
- ③ 環境保全協定 28
- ④ 松山市の循環型社会のイメージ 51
- ⑤ 雨水利用が進むと・・・ 55
- ⑥ 環境モデル都市に選ばれました 63
- ⑦ 微生物のちから 67
- ⑧ 2011年度全建賞（港湾部門）を受賞しました 73
- ⑨ エコフレンドシップ協定 75
- ⑩ 環境先進都市フライブルク市の交通事情 90
- ⑪ スマートコミュニティ 94